

30年先の二戸市を見据えて

カーリング施設に関する二戸市の計画概要

二戸市では総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略において、カーリング施設整備についての検討を行なうこととしています。

若者を中心とした地域内外との交流促進や子育て世代の交流・情報交換など、人の交流機能をさらに高めるため、カーリング場をはじめとした施設整備を検討することとしており、スポーツ振興施策に交流促進の視点も加え、国際的なつながりを有するカーリング競技の施設整備を進めるなど、二戸市の持つ人的資源を活用した交流を推進します。この計画を推進するために現在、国の10割補助事業を活用して、民間資金等活用事業導入可能性調査を行っているところです。施設の規模やNHKが放送できる施設にすることができるか、通年型にできるか、施設の建設や運営については、公民連携の手法で対応できないかなど、財源を含めて調査検討を進めています。カーリング施設だけでなく、交流施設としての複合型施設ができないかも検討課題としており、今後調査結果をもとにカーリング施設整備に関して検討していきます。

二戸市ではこのような検討を行なっていますが、カシオペアカーリング協会としては、市の方向に沿った形で協力したいと考えており、さらにカーリング人口の拡大、普及に努力し、二戸市の交流人口の拡大にも貢献して行きたいと考えていますので、市民の皆様方のご支援とご協力をお願いいたします。

平成30年1月
カシオペアカーリング協会

二戸市に カーリング施設の建設を!

県北地域の元気を発信するうえで、
オリンピックも輩出した「二戸のカーリング」は
大きな地域の特徴として発信できる魅力をもっています。
既存のスポーツと並べ比べるのではなく新たな発想、
地域おこしスポーツとしてのカーリング競技を
起爆剤として発信していけたらと考えます。
30年先を見据えた二戸市の都市計画のカーリング、
30年先に再びオリンピック選手を輩出することを大きな夢として
カーリング場建設にご理解とご支援のほどよろしく申し上げます。

二戸のカーリング Q&A

Q. 二戸市と岩手県のカーリングはどのようにして始まったのですか？



A. 1995年に当時の二戸青年会議所の有志により「岩手県カーリング協会」が設立され、そして1998年に下部団体として「カシオペアカーリング協会」、2004年に「盛岡カーリング協会」が設立されました。岩手県カーリング協会の本部は二戸市にあり、創立23年の歴史があります。

Q. カーリングの歴史は？ 競技人口は？

A. カーリングはスコットランドが発祥で、歴史は約500年前にさかのぼり、ヨーロッパやカナダでは国民的なスポーツとして親しまれています。日本では約40年前に北海道で普及し始め、競技人口は約2500人、24都道府県にカーリング協会があります。岩手県の競技者登録者数は約180人で、登録をしていない愛好者を含めると約300人位と推定されます。

Q. 二戸でのカーリングはどんな活動しているの？



A. カシオペアカーリング協会員は58名で、岩手県立県北青少年の家スケートリンクにて11月～3月まで毎週火曜と金曜日19時～22時まで練習やリーグ戦を行なっています。その他にも堀野振興会杯・岩手県知事杯・ロータリークラブ杯・カシオペア杯・イーハトーブカーリングフェスティバルの大会があり、昨年の県北青少年の家スケートリンクでは大会を含む延べ人数で1,500人ほどのカーリングの利用者がありました。

Q. 大会には県外からの参加者もあるんですか？

A.

二戸市で毎年行われている「イーハトーブカーリングフェスティバル」には30チーム130名の参加があり、関東、北海道、東北などから熱心な愛好者が集います。カーリングはゲーム性が高く、人と人のコミュニケーションが活性化する特性があり、熱心なカーリング愛好者は全国に出向いて交流を楽しみます。また、昨年は九州の福岡県協会が盛岡市の「みちのくコココーラボトリングリンク」で福岡県選手権大会を開くなど、愛好者は遠方であっても本格的な大会や練習ができる環境を求めていますので、新幹線が停車する二戸は全国でも利用しやすい立地になり得るといえます。



Q. カーリング場が出来るとどのようなことが期待できますか？

A.

カーリング競技は国内にまだ施設が少ないため、全国大会が開催できるカーリング場を整備することで大会や合宿を誘致することが可能になり、競技者や愛好者の交流人口が増えることで来訪者や滞在者の増加など、地域が活性化することが期待されます。さらに岩手県の例では、スポーツライミング競技において全国に先駆けて施設を整備したことが「伊藤ふたば」という世界的選手を生み出すことに繋がったのと同様に、オリンピック種目であるカーリングで苦米地選手に続く日本代表選手を輩出することも決して夢ではありません。さらに最近ではカーリングがテレビ放映される機会も増えているため、全国大会を開けば「カーリングのまち」として広く二戸市をPRすることが可能になるでしょう。また、カーリングは比較的年齢の幅が広いスポーツと言えます。頭脳戦の要素が大きいため年齢や体力に関係なく親しめますし、シーズンが冬場になるため、寒い時期に家に閉じこもりがちな年配層や子どもたちがカーリングに親しむことで、世代間の交流や地域の健康増進にも大きく寄与することが期待されます。

大会が開催できるカーリング施設は本州では2ヶ所だけ



カーリングの全国大会が開催できるリンクは北海道に札幌市、北見市など6ヶ所、本州では長野県と青森県の2ヶ所のみです。練習用リンクも本州では新潟や埼玉・山梨・盛岡に2シートのリンクがある程度です。